

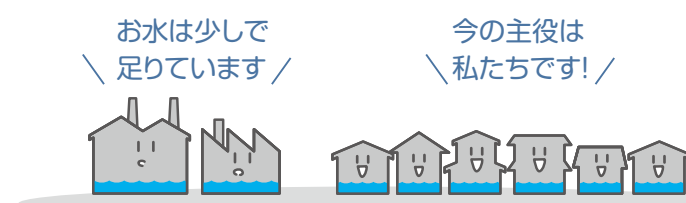
変化する、水の使われ方。

【水の使われ方は、変わってきているの？】

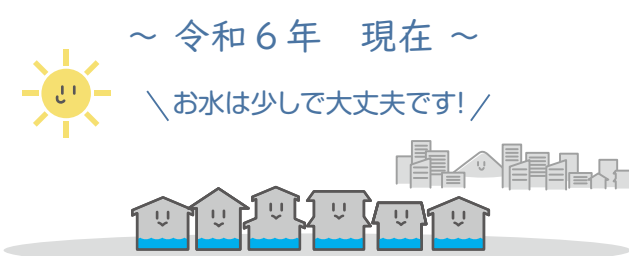
昭和40年代までの高度経済成長期にかけて、市の人口が増えるにつれ、家庭で使われる水道水の量も多くなっていました。また、大きな会社や工場など、水を多く使う事業所も増えたので、さらにたくさんの水が使われていました。



一方、大きな会社や工場など、事業所での水道水の使い方も変わってきたことで、一般家庭以上に、使われる水の量は少なくなっていました。これにより、今や市全体の多くの水は、家庭で使われています。

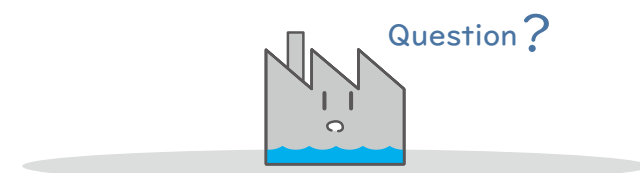


現在では、水道水よりペットボトル水を飲んだり、自炊より外食をしたりする人が増え、また、食洗機などの節水機器が普及したことで、家庭で使われる水の量が少なくなっています。



料金の仕組みは、使えば使うほど単価が高くなるので、水を使う人が増えても、水を多く使う人が少なくなると、料金収入も減っていきます。

なぜ、現在は、水をたくさん使わないのでしょうか・・・？



あなたは知っていますか？

水道料金と下水道使用料のギモン

Q1 水道料金や下水道使用料は、
どうやって決まるの？

A1 どちらも水道メーターの使用水量の検針を基に決定します。また、使用水量が多くなるほど段階的に単価が上がっていく仕組みです。例えば、水道水をたくさん使った場合、単価が高く、料金も高くなりやすいですが、少ししか使わなかった場合は、単価が低く、料金も低くなりやすいです。

Q2 下水道使用料が、使った水の量で決まるのはどうして？

A2 使った水のほとんどが、下水道管に流れ込むものと考えられています。そのため、使った水道の量で、下水道使用料を決めています。

詳しくは局Webへ



【使う水は、少なくてイイ】



Ajinomoto 味の素(株) (川崎事業所) さん
に伺いました！

普段の仕事は？

味の素グループの従業員約4,000名が在籍する川崎事業所で、主に調味料、食品やアミノ酸などの生産や研究開発の業務を行っています。

昭和40年代と今とでは、 水を使う量は変化しましたか？

味の素グループでは、環境への負荷軽減のために、平成17年から環境目標として水量の削減を掲げています。川崎事業所では、継続して工場の生産工程で使う水量の削減や、研究所や事務所などで使う水道水の節水にも取り組んでいます。ほかにも、排水処理の際には、法令の基準よりも厳しい基準を設けて、その基準に合った水を排出しています。



味の素(株) 排水処理施設

NEC 日本電気(株) (玉川事業場) さん
に伺いました！

普段の仕事は？

事業場インフラの運営管理やエネルギー管理をしています。例えば、場内の工事計画・管理や省エネルギーの推進などを行っています。

昭和40年代と今とでは、 水を使う量は変化しましたか？

会社の事業形態が変わったので、水を使う量は大きく減りました。

以前は、モノ作りを中心に行っていましたが、今では、生産工場がなくなり、IT事業や研究開発を中心に行うようになりました。ほかには、節水・省エネ性能の高い機器やコスト面を考慮し、最適なものを選定するなどしています。



日本電気(株) 冷凍機

詳しくは局Webへ



【昔と今、これからの料金制度】

昭和40年代と今とでは、水の使われ方は変わりましたが、皆さまにお支払いいただいている水道料金と下水道使用料の仕組みは、当時から変わっていません。これからの水道と下水道の事業をしっかりと進められるように、まずは、外部の専門家や市民委員と一緒に、現状と合う制度へ見直しの検討を始めました。その状況などについては、広報紙や局ウェブサイト（右の二次元コード）で、皆さまにお伝えしていきます。

局Web



ご意見等は
こちらから



市制100周年記念コラム ～上下水道の歴史～

これからはまる
Colors, Future! Actions
さあ、いっしょに。

100
2024年、川崎市は市制100周年



初代川崎市長 石井泰助

今年は市制100周年。初代市長には、川崎市がまだ川崎町だった頃に町長も勤めた石井泰助が就任しました。石井は、川崎の工業都市としての発展性をいち早く予見し、明治末期の町長時代に、工場誘致に尽力する一方、多摩川の治水工事、市街地の道路区画整備、町営水道の建設の三大事業を掲げて、インフラの整備にも取り組みました。中でも、彼が最も心血を注いだのが近代水道の創設でした。大正初期には、浅野総一郎らにより臨海部で埋立事業も始まり、川崎の工業化・都市化に拍車がかかることになります。

石井市長の献身的な努力は、産業都市・川崎の礎を築くとともに、草創期の川崎水道を支えました。